

川之石高等学校	No. 1	川高セミナー			
教育活動の目的	本校生徒の進路は国立大学進学から就職まで多岐にわたっている。また、ここ数年、公務員を目指す生徒が、少人数ではあるが継続的な学習を続け、国家Ⅲ種や県職員に合格している。そこで、近隣の企業や地域の方々の協力を得て、体系的・継続的な進路指導を行い、多様な進路選択を行う生徒の進路実現を図る。				
校長氏名	染田 祥孝	対象学科 学年	総合学科 1・2・3年	教育活動 実施日数	7 日
コーディネーター氏名	清家 信孝	参加のべ 生徒数	223 名	教育活動 時間数	32 時間
土曜教育推進員	木村 謙児	みなと交流館館長	就職指導		
	山下さやか	専門学校講師	就職指導		
	高岡 省三	元教員	小論文指導		
	二宮 成計	元教員	教科指導 (英語)		
	湊 幸和	元教員	教科指導 (理科・生物)		
	三瀬 康弘	(株)三瀬商店代表取締役	就職指導		
	田中沙友里	保健センター保健師	進学指導		
	松田 幸隆	専門学校講師	公務員指導		
特別講師	渡部 慎二	専門学校講師	公務員指導		
	太田 浩二	予備校講師	進学指導		

【教育活動の計画】

	月日	主な教育活動	時間	場所	参加生徒数
①	H26. 6. 7	就職指導「講話：企業が求める人材」「マナー・面接実践と作文の書き方①」	4	福祉実習室	33
②	H26. 7. 12	就職指導「マナー・面接実践と作文の書き方②」	2	福祉実習室	33
		進学指導「教科指導 (英語)」「小論文指導」	4	視聴覚教室	27
③	H26. 9. 13	進学指導「教科指導 (英語)」「小論文指導」	4	視聴覚教室	10
④	H26. 9. 27	進学指導「教科指導 (英語)」「小論文指導」	4	視聴覚教室	10
⑤	H26. 12. 6	進学指導「教科指導 (英語)」「教科指導 (理科・生物)」	4	視聴覚教室	10
		進学指導「講話：進路実現に向けて」	2	視聴覚教室	27
		就職指導「講話：十代でやっておきたいこと」	2	102教室	22
⑥	H27. 1. 10	進学指導「講話：医療人として必要なこと」	2	視聴覚教室	39
		公務員セミナー「公務員試験対策・演習」	2	総合実践室	6
⑦	H27. 1. 17	公務員セミナー「公務員試験対策・演習」	2	総合実践室	6

【教育活動の実際】

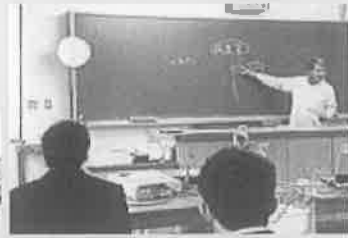
①② 就職指導「講話：企業が求める人材」「マナー・面接実践と作文の書き方」(3年次)



3年次生の就職希望者を対象に、みなと交流館館長の木村謙児氏から「企業が求める人材」について熱く語っていただいた。山下さやか氏からは、マナーについて、面接や作文の実践指導があり、就職試験に向け、意識が高まった。



②～⑤ 進学指導「教科指導（英語）」「小論文指導」「教科指導（理科・生物）」（3年次）



英語、小論文、理科・生物の教科指導を行っていただいた。各教科ともにポイントを押さえて指導していただき、生徒の理解が深まった。また、英語や生物ではより専門的な内容の講義を、小論文では実践的な指導や個別指導をしていただくことで生徒の意欲が向上した。

⑤⑥ 進学指導「講話：進路実現に向けて」「講話：医療人として必要なこと」（1・2年次）



1・2年次の進学希望者対象に大学進学に向けて、今やらなければならないことを太田浩二氏から教えていただいた。



「医療人として必要なこと」をテーマに看護師を経験し、現在保健師として働いている本校の先輩からお話を伺った。

⑥⑦ 公務員セミナー「公務員試験対策・演習」（1・2年次）



公務員の仕事内容や試験合格に向けてのポイントについて講義を受け、実践演習を行った。



⑥就職指導「講話：十代でやっておきたいこと」（2年次）



地元で活躍されている三瀬康弘氏から、就職試験に向け、今やらなければならないことについてお話を伺った。

【成果】

- ・生徒の意識の変容が見られ、進路実現の意識付けになった。また、早期の就職内定が得られ、公務員（事務職）合格者も出た。
- ・生徒からも「とても分かりやすい講義で勉強になった」といった感想が聞かれるなど、生徒の意欲向上や小論文作成能力、学力向上を図るとともに、生徒の進路実現につながった。

【課題】

- ・本校生徒の進路は多岐にわたっている。そのため、生徒の実態に合った講師の選定が該当年度途中になるなど、調整が難しい面があった。
- ・今後は、事業の趣旨、成果を広く地域にアピールすることによって、地域や企業の理解や協力を得て、事業の効果的な実施につなげたい。

教育活動の目的	水産業の低迷の中、学校、家庭、地域の連携を図りながら、魚食の普及や環境保全の啓発等の活動を中心に、県下唯一の水産高校として本事業を活用しながら生徒のスキルアップや地域貢献に取り組む。				
校長氏名	田井野 経生	対象学科 学年	水産 1～3年	教育活動 実施日数	11日
コーディネーター氏名	入江 政人	参加のべ 生徒数	94名	教育活動 時間数	50時間
土曜教育推進員	中村 和憲 木熊 良生	料理研究家 石釜作り名人	食育の推進「石釜の利用」 食育の推進「石釜作りの理論と実践」		
特別講師	黒川 勇人 黒瀬佐紀子	缶詰博士 缶詰料理研究家	缶詰の魅力、売れる缶詰開発実践 缶詰を使った料理レシピ作り		

【教育活動の計画】

	月日	主な教育活動	時間	場所	参加生徒数
①	H26. 5. 31	科目「課題研究」における石釜作り	3	E工場	3
②	H26. 6. 14	科目「課題研究」における石釜作り	3	E工場	3
③	H26. 6. 21	科目「課題研究」における石釜作り	3	E工場	3
④	H26. 6. 28	科目「課題研究」における石釜作り	3	E工場	3
⑤	H26. 7. 5	科目「課題研究」における石釜作り	3	E工場	3
⑥	H26. 10. 25	缶詰の魅力、「売れる」缶詰開発の理論及び実践	6	M工場	21
⑦	H26. 11. 15	食育の推進に「石釜」の利用	4	EM工場	6
⑧	H26. 11. 22	えひめ・まつやま産業まつりで石窯「鯛ピザ」作り	6	松山	8
⑨	H26. 11. 23	えひめ・まつやま産業まつりで石窯「鯛ピザ」作り	6	松山	7
⑩	二学期	科目「食品製造」の中で⑥のための計画・反省	8	教室	29
⑪	二学期	科目「選択水産食品製造」の中で⑥の計画・反省	5	教室	8

【教育活動の実際】

①～⑤科目「課題研究」における石釜作り

石窯作りを地域の人材を生かして行った。

生徒・教員ともに石窯作りに関しては、初体験であり、講師の助言が非常に有効であった。また、講師の助言を参考に生徒が自ら試行錯誤する場面が増加し、積極的に取り組む姿勢も見られ、外部講師を招へいた効果が見られた。

(生徒の感想)

初めての体験でしたが、講師のアドバイスのおかげで考えていたよりもスムーズに作ることができた。これを後輩にうまく活用してほしい。



⑥ 「売れる」缶詰開発の理論及び実践

特別講師である缶詰博士 黒川勇人氏と、缶詰料理研究家 黒瀬佐紀子氏を招き、缶詰の魅力についての講義及び、黒川氏は2年生と新しい缶詰開発、黒瀬氏は3年生と缶詰のレシピ作りを行った。

どちらの内容も、計画⑩⑪で事前にブレインストーミングやマインドマップ、KJ法などを利用して創造学習を行っている。

事前学習の効果と、缶詰の世界では非常に著名な2名に講師として来校していただいたこともあり、生徒もモチベーションは高く、充実した活動になった。特に、黒川氏の世界の缶詰の講義では、世界の缶詰の紹介や東日本大震災と関連付けた缶詰の話など生徒が普段聞くことのできない非常によい内容であった。また、黒瀬氏は何冊も缶詰料理レシピの本を出版されているため、できた製品の飾りつけや魅せる写真の撮り方など生徒に参考になることが多かった。また、レシピ作りの前にどのような食材が合うかを確かめる方法なども今後本校で取り入れていけるような内容を多く実践していただいた。

(生徒の感想)

普段、学校で習わないようなことを多く知り、さらに缶詰が好きになった。講師の先生のおかげで楽しんで活動することができた。



⑦～⑨食育の推進に「石窯」を利用

土曜教育推進事業を利用して製作した石窯を有効活用するため、石窯の利用方法及び実践活動を行った。

計画⑦では講師として料理研究家 中村和憲氏を迎え、県魚であるマダイを利用したピザを試作した。特に問題がなかったため、計画⑧⑨で県民に対して魚食普及活動を行うため、石窯を利用した鯛ピザを作って販売した。移動式石窯は非常に珍しく、人目についたことと、料理研究家 中村氏の愛媛での知名度が高かったこともあり、販売は大行列ができ、2日間ともに午前中で製品が完売してしまった。

(生徒の感想)

試作、販売ともに参加しましたが、中村先生やお客様の笑顔で非常に楽しく活動ができた。魚食普及活動として、よい活動なのでもっと多くの生徒に参加してほしい。



【成果】

・土曜教育を通して生徒の意欲や専門教科への興味・関心、地域の食材への理解が深まった。また、授業とリンクさせた内容にすることによって生徒の授業に取り組む姿勢も全般的に良くなったと感じる。また、本事業に取り組むことにより新たな地域人材の活用を行うこともでき、今後の教育活動に幅を持たせられる可能性がでてきた。今回開発した製品をイベントなどで販売することにより今後、地域活性化につなげていける可能性がある。

【課題】

・本事業に取り組む以前より、本校では多くの地域の人材に助力を賜っている。これからは、今まで協力をしていただいた地域に対して本校が助けになっていくような取組が必要であると考えている。そのためにも、普段では招へいできないような講師を招き、地域の人とともに生徒が学んでいけるような取組に本事業がなっていくよう努めたい。

教育活動の目的	水域の環境保全について学校、家庭、地域との連携を図り、森・山・海・そして人と人とのつながりの大切さを学び、水産業や環境保全分野に貢献できる力を養うことを目的とする。				
校長氏名	田井野 経生	対象学科 学年	学科 1～3 年	教育活動 実施日数	5 日
コーディネーター氏名	入江 政人	参加のべ 生徒数	49 名	教育活動 時間数	26 時間
土曜教育推進員	梶原 正充	農業経営者	森・里・海の関わりについての実習・指導		
	福島 和彦	魚類養殖業	森・里・海の関わりについての実習・指導		
	村田 八郎	NPO法人宇和海に緑をひろげ環境を守る会	宇和海浄化のためのブルーカーボンについての指導		

【教育活動の計画】

	月日	主な教育活動	時間	場所	参加生徒数
①	H26. 6. 7	森・里・海のつながりについて田植えを通じて理解する。	6	宇和島市津島町上畑地	12
②	H26. 9. 27	森・里・海のつながりについて田んぼの管理を通じて理解する。	6	宇和島市津島町上畑地	10
③	H26. 10. 25	森・里・海のつながりについて稲刈り・収穫祭を通じて理解する。	6	県漁連宇和島支部	7
④	H26. 12. 21	コンブ種付けを通してブルーカーボンについて理解する。	4	県漁連宇和島支部	10
⑤	H26. 3. 21	コンブ収穫祭を通してブルーカーボンについて理解する。	4	宇和島市津島町上畑地	10

【教育活動の実際】

① 森・里・海のつながりについて田植えを通じて理解する。

農業従事者の梶原正充氏、魚類養殖業従事者の福島和彦氏や有志の方々の協力により、棚田で田植えを行った。沢の水を田に引き、無農薬で稲を育てている意義について説明していただいた。その時に、「山に住む者が、農薬や化学肥料を使うと川下の里・川、そして、海が汚れてしまう。森、里、海はつながっている。」という講話をいただき、志の高い理念とその実践に対して感銘を受けた。

また、ニホンミツバチの養蜂について話をいただき、生物多様性の重要性について理解した。海を環境を保全するには、森・里・海をみつめるとともに、人と人とのつながりの大切さについて学んだ。



(生徒の感想)

志の高い地域の方々の話を聞き、素晴らしい理念を持った方が宇和島におられることが分かった。

私たちも森、里、海のつながり、そして、人と人とのつながりを大切にしていきたいと思った。そして、私たちのふるさとの森、里、海を守るために、身近なことから実践していこうと思う。

② 森・里・海のつながりについて田んぼの管理を通じて理解する。

農業従事者の梶原正充氏、魚類養殖業従事者の福島和彦氏や有志の方々の協力により、米作りを行った。米ができるまでには、88の工程を経て作られるとされている。その1つの工程である除草を体験した。

除草後に、イノシシによる食害が発生するなど米作りの大変さと自然の摂理について再確認することができた。



③ 森・里・海のつながりについて稲刈り・収穫祭を通じて理解する。

農業従事者の梶原正充氏や魚類養殖業従事者の福島和彦氏や有志の方々の協力を得て、棚田での昔ながらの自然に優しい農法での米づくりを体験させていただいた。今回は、稲刈りを通して「食」について見つめるとともに、森・里・海のつながりについて理解することを目的とした。

沢から田に水を引き込み、農薬を使わない米作りを通して、食べ物への感謝の気持ちや環境について学ぶことができた。また、環境保全への取組や食育の大切さについてESDの観点からもみつめることができた。



【成果】

- ・米作りを通して、地域の環境や食べ物への感謝の気持ちを育むことができた。全国高校生エコアクションプロジェクト主催の「全国高校生ESDシンポジウム岡山大会」で体験したことを中心に発表し、「森・海・里・そして、人をつなげます」という高校生ESD宣言を行った。
- ・更には、体験した内容の一部をイオン1%クラブ主催 e s d - 1 グランプリ中国・四国大会にて発表するなど学びを展開することができた。今後とも学校生活に生かし、学びを深めたいと考えている。

【課題】

- ・本事業は、志の高い地域の方々のおかげで、生徒が体験的な活動を通じて充実した学びを重ね、すばらしい成果を得ることができている。
- ・実施するためには地域の方々の協力が欠かせない。今後とも、志の高い方々と連携を密にし、指導していただいている方々もやりがいや喜びを得られるように地域貢献等への取組や発展につなげたい。

④ コンブ種付けを通してブルーカーボンについて理解する。

NPO法人「宇和海に緑をひろげ環境を守る会」の村田八郎氏を含む会員の方々や宇和島漁協青年部の方々の協力により、コンブ種付けによる宇和海浄化について学んだ。

本校の学習は、そのフィールドとなる地球環境や海洋環境、そして、エネルギー問題を切り離しては成り立たない。学びのフィールドである水域の環境をみつめ、保全することは必須である。近年、ブルーカーボンの重要性が認識されている。ブルーカーボンとは、海洋生物によって吸収される二酸化炭素のことである。国連環境計画の報告書によると、地球上の生物が固定化する炭素のうち、海洋生物（植物プランクトン、海藻、サンゴ礁など）の吸収する二酸化炭素は全炭素量の55%を占めるとされている。

そこで、宇和海でブルーカーボンによる実践をされているNPO法人に、コンブの種付けや宇和海及び宇和島の自然を保全する精神について学んだ。さらには、学んだことを環境保全型の水産業に貢献するための活動に生かすことをねらいとした。



（生徒の感想）

種糸についているコンブが非常に小さいことに驚いた。3月には、2～3mになると聞き、成長の早さにさらに驚いた。成長が早ければ、その分、海がきれいになると思うと、非常にうれしく感じる。この活動に参加できてよかったと思った。

⑤ コンブ収穫祭を通してブルーカーボンについて理解する。

今後、NPO法人「宇和海に緑をひろげ環境を守る会」の村田八郎氏を含む会員の方々や宇和島漁協青年部の方々の協力により、コンブ収穫祭を行う予定である。コンブ収穫祭は、多くの市民の方々が参加されると思われ、コンブ収穫祭を通してブルーカーボンについて学ぶとともに、環境保全型の水産業に貢献するための知識と技術を高めたいと考えている。

【成果】

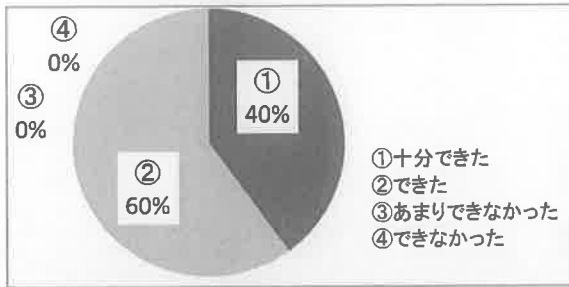
- ・コンブ種付けを通してブルーカーボンによる宇和海の環境保全について学ぶことができた。また、多くの漁業者も実践されていることを知るにより、環境保全型の水産業の重要性に気付くことができた。そして、森・里・海・食との関わりとその大切さについて一層理解することができた。
- ・全国高校生エコアクションプロジェクト主催の「第5回全国高校生環境活動発表会全国大会」に出場し、「水高ブルーカーボンプロジェクトにおける環境保全活動」をテーマに発表予定である。今後とも学校生活に生かし、学びを深めたいと考えている。

【課題】

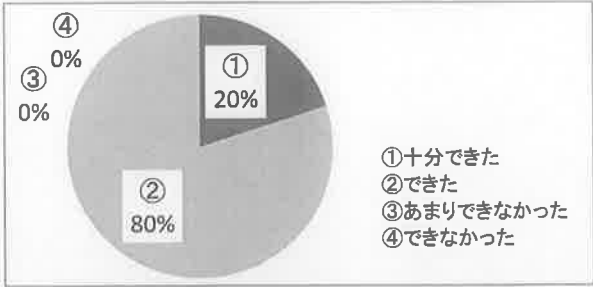
- ・コンブ種付けを通じて、環境保全やブルーカーボンの重要性を認識することができた。今後は、この取組を元に科目「課題研究」での発展や学びを深めることが必要である。
- ・さらには、地域や水産業界に浸透させるためにも様々な機関と連携し、広報にも取り組んでいくことなどが課題である。

Ⅲ 成果と課題

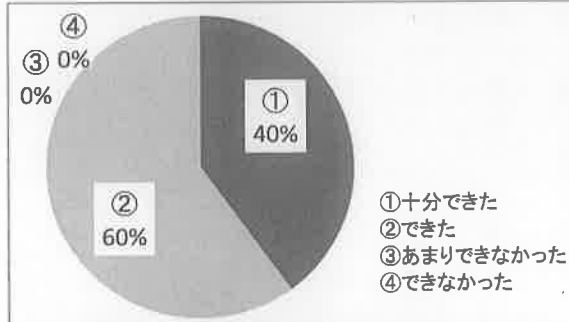
1 学校と連携・協力した教育活動の計画



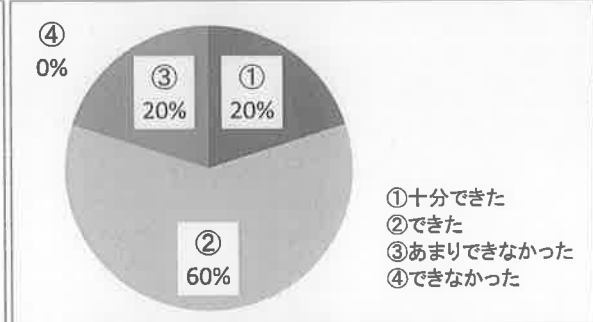
2 学校と連携・協力した人材の確保・選任



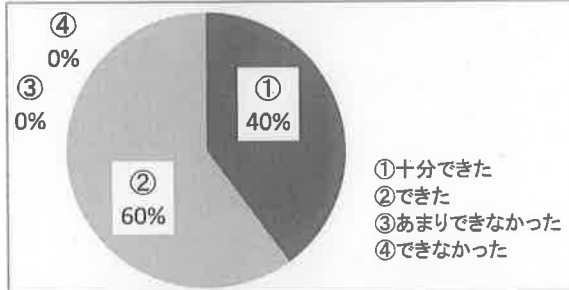
3 学校の目的等に応じた土曜教育推進員の配置



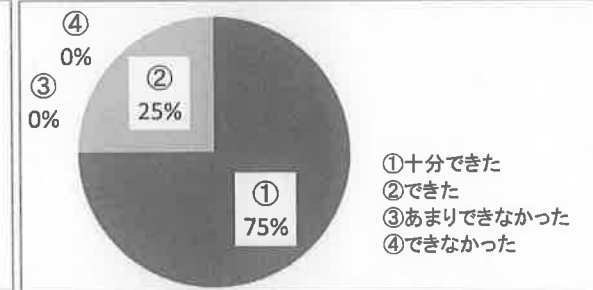
4 教育活動や必要な学習支援に応じた協力者の確保・配置



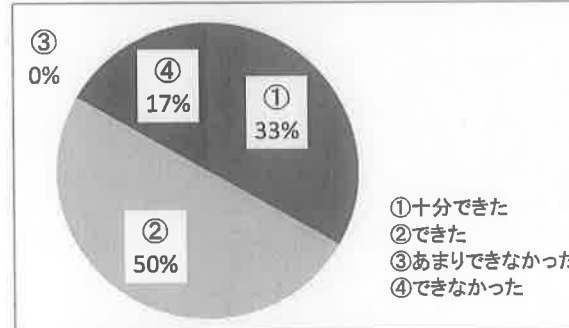
5 教育活動や学習支援の適切な実施



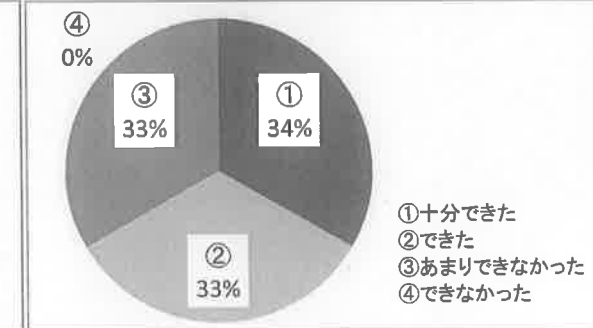
6 教員の教育活動や学習支援への協力の状況



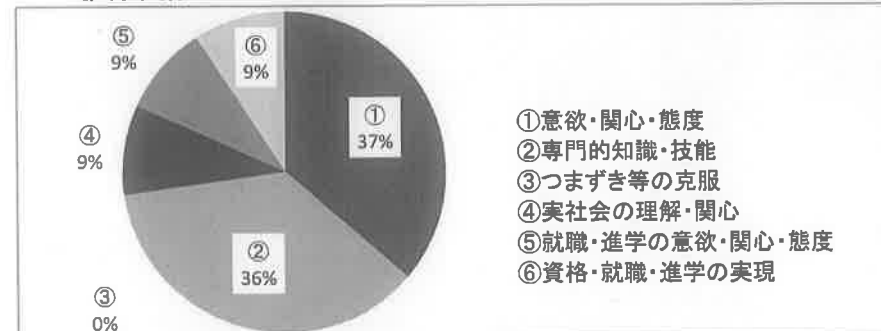
7 学校と連携・協力した土曜教育の広報・啓発活動



8 地域・企業等と連携・協力した土曜日の教育支援体制づくり



9 教育効果

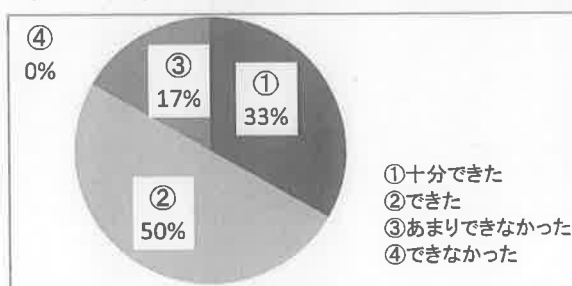


- 10 教育活動の計画に当たっての問題点や困った点
・日程調整
- 11 人材の確保・選任・配置に当たっての問題点や困った点
・土曜日であるために、企業関係等の人材の確保が難しかった。
・地域活性の推進に当たる人材の確保が難しかった。
- 12 教育活動の実施や生徒への学習支援に当たっての問題点や困った点
・部活や検定等との日程調整
・計画・準備した内容と、生徒の実態や要望にずれがないか心配であった。
- 13 今後も、学校と地域・企業等が連携・協力した教育支援体制づくりを推進していくために必要なこと
・地域性を取り入れることができる企業（事業）との連携・協力体制づくり
・地域や企業の協力を得るためには、今年度の取組をまとめた資料等を作成し、広報活動を行うことで、様々な方々の理解を得ることが大切である。
- 14 体系的・継続的な教育活動の日数として土曜日の教育活動の日数(今年度、10日程度)について
・10日程度が妥当な日数である。
・学ぶ内容によって十分とは言えないが、先生・生徒のことを考えると、日数の増加は難しい。
- 15 土曜教育コーディネーターをして、よかった点
・地域で意欲的に事業を展開されている方々に協力していただき、よかった。
・学校の状況を自分の目で確かめ、学校や生徒の実態、目指している目標等が明確になった。
・高校の実状や文科省の考え方、他校での実践報告等の研修をしていただき、非常に勉強になった。
- 16 土曜教育コーディネーターをして工夫すればよかった点や苦労した点
・生徒たちが学びたいと思う知識や技術をより多く取り入れた学習に工夫したい。
・先生方とのコミュニケーションを密にし、よりよい協力関係ができるように工夫したい。
・高校の要望に応えるよう努めたが、こちらからも提案できればよかった。
・コーディネーターとして、より深い地域理解や地域への発信力を高めるようにしたい。

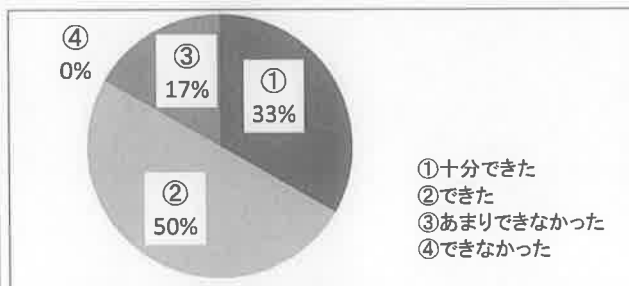
事業実施校

回答:事業実施校6校

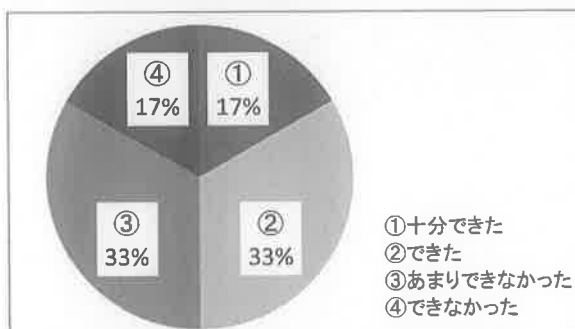
1 コーディネーターと連携・協力した教育活動の計画



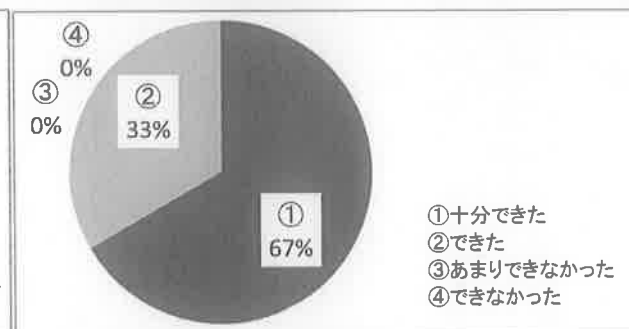
2 学校の目的や実態に応じた体系的・継続的な教育活動の計画



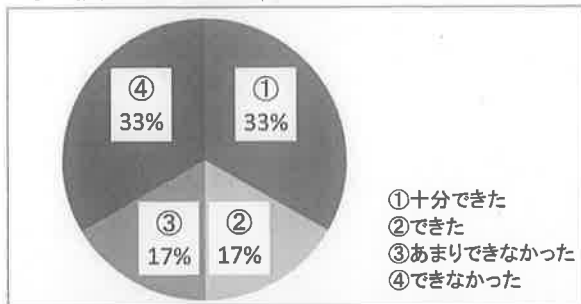
3 コーディネーターと連携・協力した人材の確保・選任



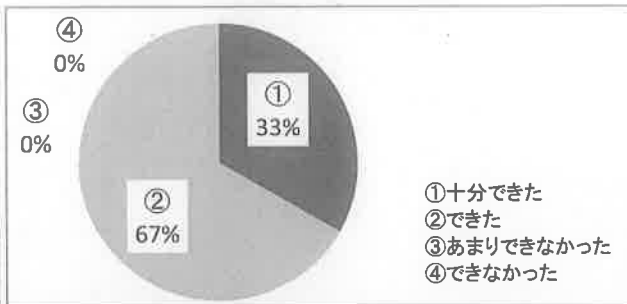
4 教育活動や必要な学習支援に応じた土曜教育推進員の配置



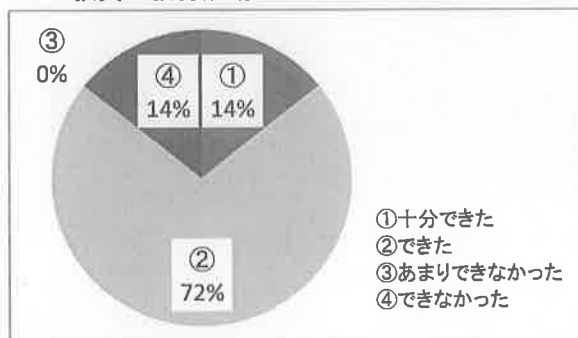
5 教育活動や必要な学習支援に応じた協力者の配置



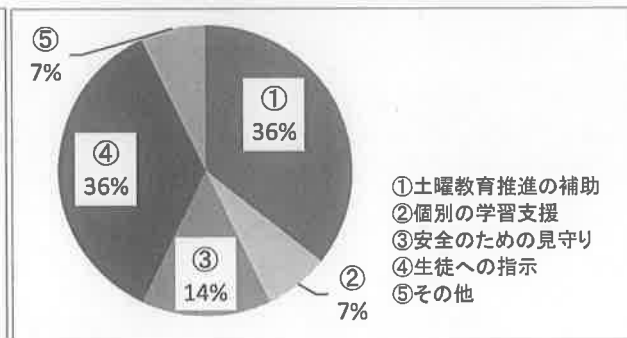
6 教育活動や学習支援の適切な実施



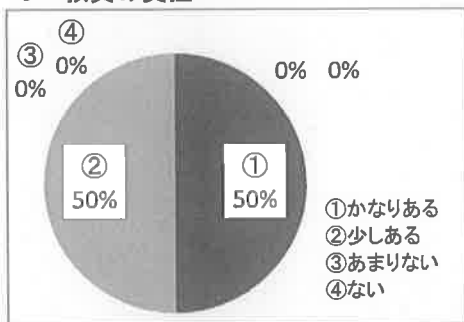
7 教員の教育活動や学習支援への協力の状況



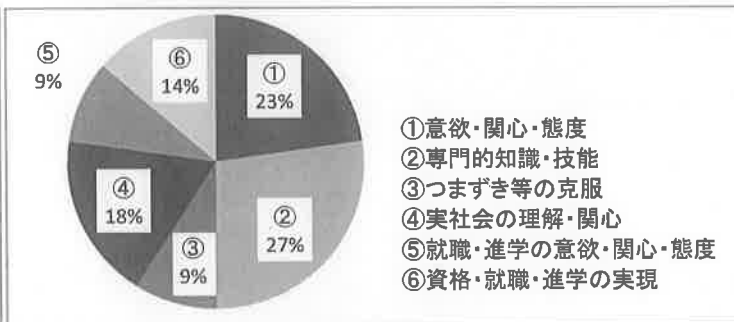
8 教員の教育活動や学習支援への協力の内容



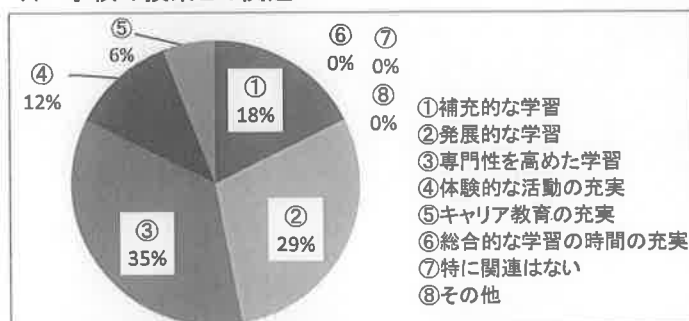
9 教員の負担



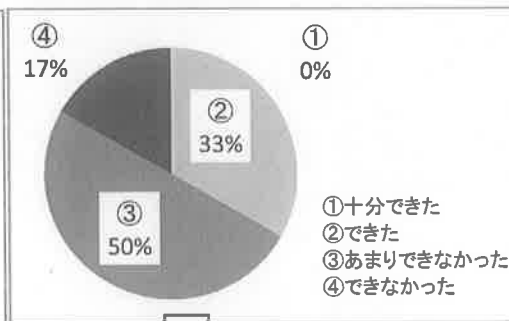
10 教育効果



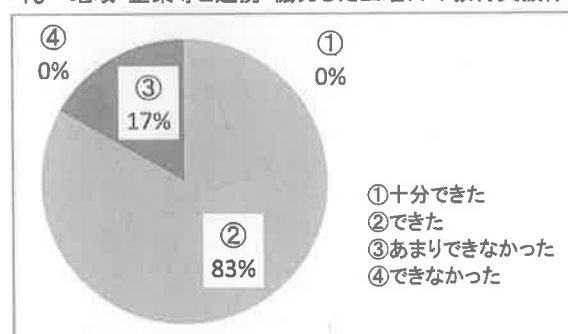
11 学校の授業との関連



12 広報・啓発活動



13 地域・企業等と連携・協力した土曜日の教育支援体制づくり



- ・年度初めに活動計画を保護者に配布
- ・ホームページで活動の様子を紹介
- ・参観の案内(2回)
- ・文書でのお知らせ(1回)
- ・ホームページでのお知らせ(2回)

- 14 コーディネーターを選考するに当たっての問題点や困った点
- ・地域に顔が広く、学校にもかかわってきた方を探すのが大変だった。
 - ・依頼したい方は多忙で、引き受けてくださる方を探すのが難しかった。
- 15 土曜教育推進員に学習支援を行ってもらうに当たっての問題点や困った点
- ・店舗経営の方は土曜日が忙しいので、協力を得にくい。
 - ・学校側の日程と推進員の予定との調整が難しかった。
 - ・学校の進度に応じて内容を変更してもらうこともあり、迷惑をかけた。計画的に内容を決めて、早めに連絡するよう努めたい。
 - ・数回の学習支援のため、生徒の現状等の把握が難しかったようである。
- 16 学校の教員が教育活動や学習支援等に協力できるよう工夫・配慮したこと
- ・部活動や技術検定、模試監督で土曜教育に來れない日があり、教員が分担して出勤した。
 - ・土曜教育の時間以外に生徒の指導をかなり行った。
 - ・月行事予定に土曜教育の予定を入れてもらい、商業以外の教員の参加や部活動への配慮を呼び掛けた。
 - ・従来から行ってきた補習の体制を生かして、協力体制を整えることができた。
 - ・全生徒への働き掛け
- 17 教員の負担についての回答理由
- ・長期休業中に振休を取ることはできるが、教材研究等の時間がなくなる。
 - ・運動部顧問の教師が多いので、土曜教育に協力できる教員の確保が難しい。
 - ・土曜教育の時間以外に生徒の指導をかなり行った。
 - ・推進員が授業をしやすいするための準備や部活動の担当者へのお願など。
 - ・土・日曜日に部活動や大会、練習試合などがあるため、忙しかったが、生徒の進路実現のためには必要なことだと思う。
- 18 できるだけ多くの生徒が教育活動に参加できるよう、学校が工夫や配慮をしたこと
- ・校内に土曜教育で作製した作品を展示し、関心・意欲を高めるようにした。
 - ・土曜教育の準備作業をさせることで意識を高めた。
 - ・各講座の案内と実施要項を全クラスに配布し、募集を掛けた。
 - ・基本的に学年で振り分けて全員参加とした。
 - ・部活動や補習と重なることもあったが、土曜教育への参加を優先させてもらった。
 - ・生徒の進路に合わせて内容を検討した。
- 19 体系的・継続的な教育活動の日数として土曜日の教育活動の日数(今年度、10日程度)について
- ・適当であると思う。あまり多いと生徒・先生にも負担になる。
 - ・プログラムによって日数に偏りがあった。
 - ・内容を考えると、もう少し増やしてもよいが、教員の負担を考えると10日程度が適当である。
 - ・目標達成のためには、より多くの日数が必要だが、部活動との両立を考えると適切である。
- 20 地域や企業等の人材を活用した教育活動及び教育支援を実施して、よかった点
- ・職人技という伝統・伝承を学び、地域と歩む講座になった。
 - ・授業では体験できない高度な知識・技術を体得することができた。
 - ・松山大学の協力が得られたのは大変よかった。
 - ・専門的な立場から資料や説明などを使って分かりやすく生徒に教えていただけた。
 - ・教員では指導できない専門的な技術や発想法を指導していただけた。
 - ・生徒の意識の変容が見られ、早期に就職内定率100%を達成できた。(昨年度同時期：84%)
- 21 地域や企業等の人材を活用した教育活動及び教育支援を実施して、課題と思われる点
- ・土曜日は部活動の練習、地区大会への参加、専門学校の体験入学の参加、模擬試験や補習等で参加できない生徒が出てくるので、できる限り調整したい。
 - ・貴重な土曜日の取組を有効に生かすために、体系的な計画・授業との連携を一層図る必要がある。
 - ・目的の教育支援ができる人材を確保できるようにしたい。

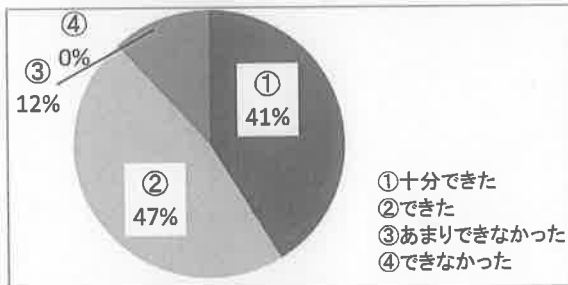
22 意見や感想

- ・一部の学校での取組なので、他の行事が入ったり、生徒の意識が高まりにくかったりなどの点から、もっと土曜教育を進めていくとよい。
- ・来年度は、今年度の成果や課題・改善点を踏まえて検証したい。講座ごとで講師の先生の独特のノウハウを覚えてもらうことに生徒は強い期待を寄せ、教員・生徒と共に勉強になった。
- ・全体としては生徒たちに意義のある取組であり、一部の教員の負担が大きいこと、生徒の温度差があったことが課題と思われる。
- ・土曜教育の効果はあるが、補習や部活動に支障がでないように計画を調整したい。
- ・地域人材については、本校が社会人活用に積極的に取り組んでいることへの理解は得られており、土曜教育での人材活用についても協力を得ることができた。
- ・教員とは違った視点から指導をしていただき、生徒の意欲が高まり、成果につながった。

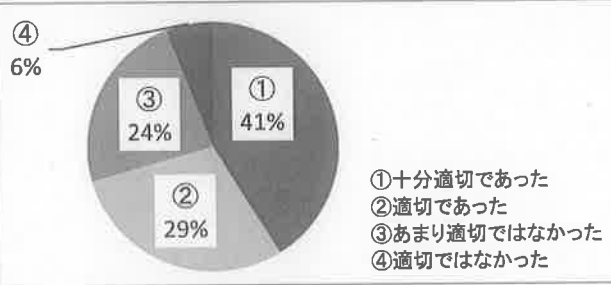
土曜教育推進員

回答:事業実施校6校 34名

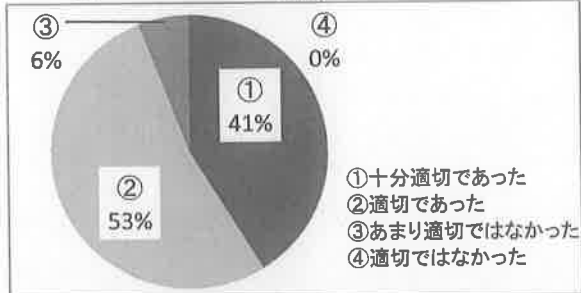
1 学校やコーディネーターとの打ち合わせ



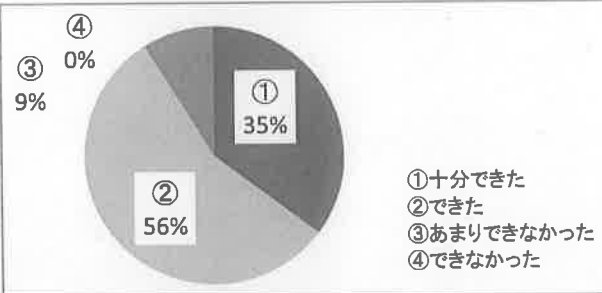
2 教育活動の時間数



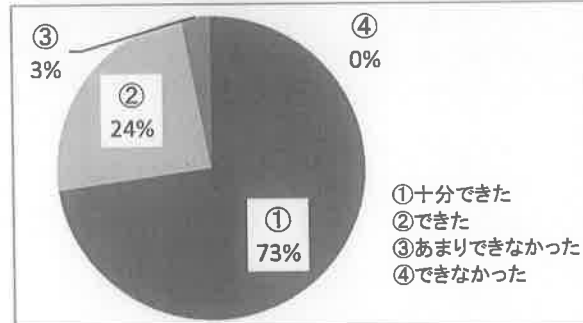
3 受け持った生徒の人数



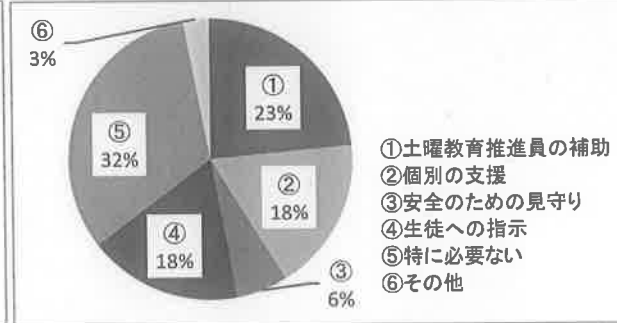
4 教育活動や学習支援の適切な実施



5 教員等の適切なサポート

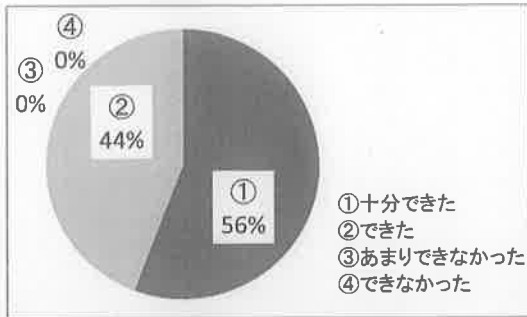


6 必要なサポート

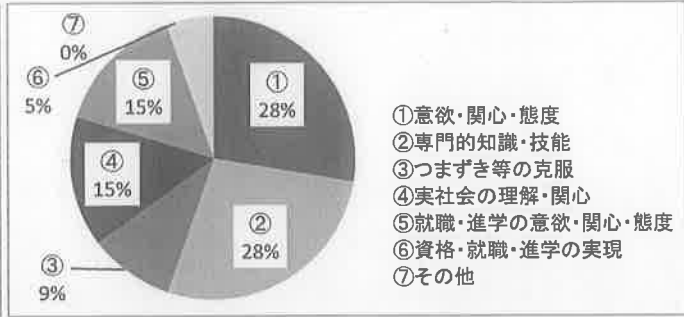


その他:アフターフォロー

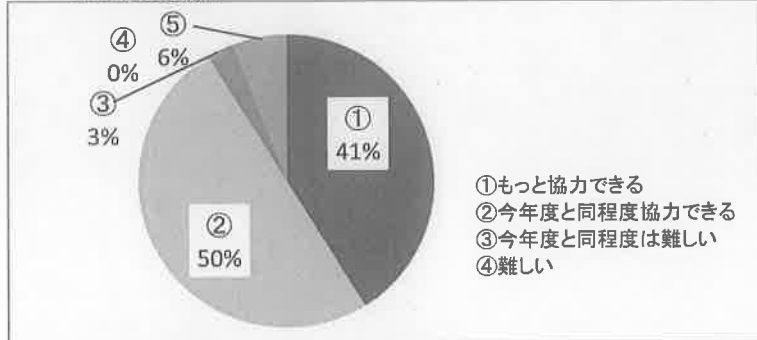
7 生徒の取組



8 教育効果



9 来年度の協力



10 来年度の協力についての回答理由

- ・年1回では詳しく説明できず、教えられることが限られてしまう。
- ・いい活動だと思うので、是非もっと協力させていただきたい。
- ・もう少し時間があれば実務を入れて知識を得てもらうこともできる。

11 土曜日の教育活動で学習支援を行って、よかった点

- ・生徒と親しく交流しながら大変有意義な時間をもつことができ、今後の取組への励みになった。
- ・初めての取組であったが、生徒が興味をもって作品を完成することができ、よかった。
- ・高校生の学習状況や価値観、考え方を知ることができた。
- ・専門知識を高校生に学んでもらう機会を得て、少しでも伝えることができて非常によかった。
- ・生徒の意識が高く意欲的で、充実した活動により、実社会への理解・関心が高まった。
- ・生徒の純粋さや発想・表現のおもしろさなど、今まで知ることのできなかった感動があった。
- ・生徒の学習意欲が高く、教員の指導方針も適切で、楽しく指導ができた。
- ・高校の教員との連携が図れたことがよかった。
- ・生徒が一つでも多くのことを身に付けようとする真剣な姿勢が感じられ、楽しく対応できた。
- ・地域に住む仲間として、先生・生徒と学校外の社会生活の中でも声を掛け合えるようになった。
- ・すばらしい生徒に出会え、生き生きと取り組む姿にやる気もらった。
- ・教員とのコミュニケーションが取りやすく、対応もすばらしいので、活動しやすかった。

12 土曜日の教育活動で学習支援を行っての課題や困った点

- ・回数や時間を増やすことができれば、もっと密な指導ができると思う。
- ・資格取得に向けた対策は回数が多い方が細かい指導ができる。また、事前の生徒の実態や要望の把握がもう少しできるとよい。
- ・生徒によって学習の進度に差があり、個別の支援が必要な生徒に十分対応できなかった。
- ・目的や学習内容についての打合せが詳細にできると指導に反映できる。
- ・生徒への指導が難しいので、先生に声を掛けてもらえると助かる。
- ・習ったことを習得できるよう、フォローすることが大事であると思う。半年後にフォローの授業を実施するなど、定着のための施策を考えてみてはどうだろうか。
- ・単年度実施のため、評価等の測定が難しい。
- ・欠席した生徒へのフォローができないことが課題である。

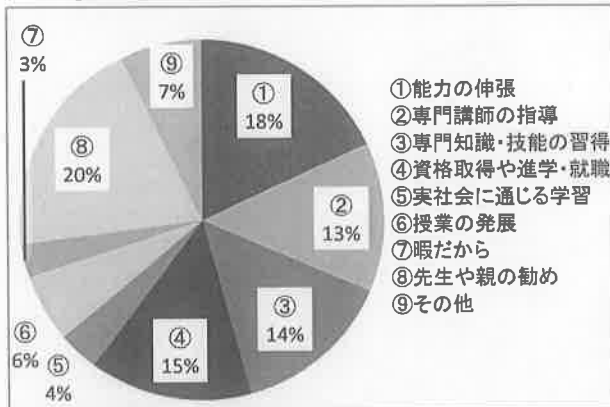
13 意見や感想

- ・生徒の熱心さや探究心をもった学習への姿勢が伝わってきた。体験活動にも積極的にアレンジを加えながらチームワークよく取り組めた。ぜひ、地域の保育所や幼稚園の訪問実習で学習を生かしてチャレンジしてほしい。生徒の自信やスキルアップにつながることを期待している。
- ・生徒が、肩の力を抜いて楽しみながらレクリエーションを学ぶことができていたので、もう少し回数を増やすともっと楽しくなると思う。
- ・学生の進路決定のための体験学習は、意欲・関心の向上に大いに役立つと思うので、今後も協力させてもらいたい。
- ・積極的に取り組む生徒が多く、縫うコツや縫い方等、いろいろと会話をしながら楽しく教えることができた。声を掛けていただき、うれしかった。今後ともお願いしたい。
- ・授業をさせていただき、勉強になった。生徒のみなさんにより多くの知識を習得してもらえよう取り組みたい。このような機会をいただき、感謝している。
- ・地元企業とのコラボなどができれば、より効果ありと考える。
- ・担当教員やコーディネーターが非常に熱意をもって取り組んでくださったおかげで、よい成果を上げられたと思う。回を重ねるごとに連携を密にすることができ、継続して実施することが大事であると感じた。
- ・生徒が熱心に楽しく活動し、また達成感をもった様子にふれ、楽しく教えることができた。
- ・担当教員に専門知識があつて助かった。今後も教員のサポートを得ながらの指導が望ましいと考えている。
- ・1か月に1回程度のペースで実施することの効果を見ると、業界への関心を高めることが目的であれば、今のままでよいが、専門知識の習得が目的であるのなら、短期集中の方が効果が高い。生徒は学習態度がよく、大変うれしかった。

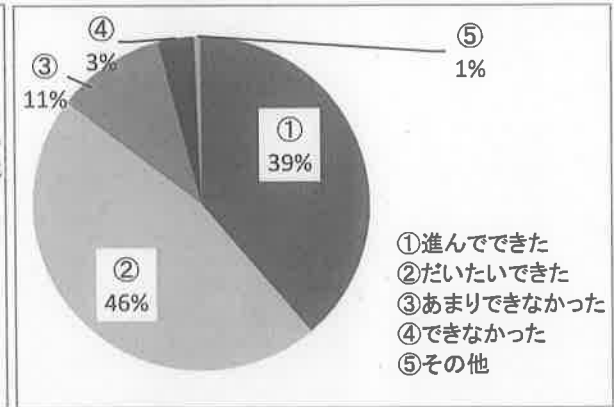
生徒

事業実施校6校496名

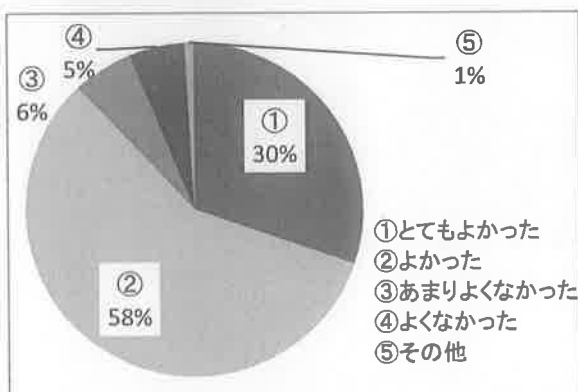
1 参加理由



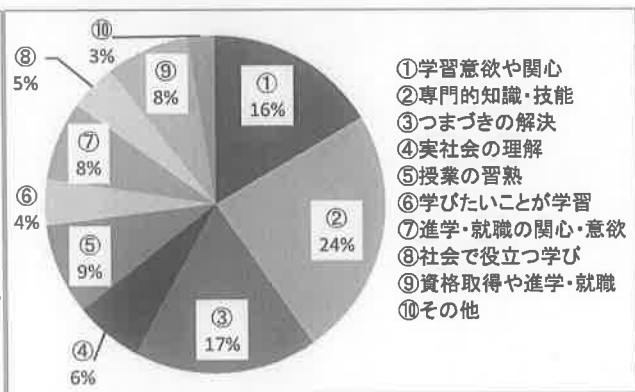
2 学習への取組



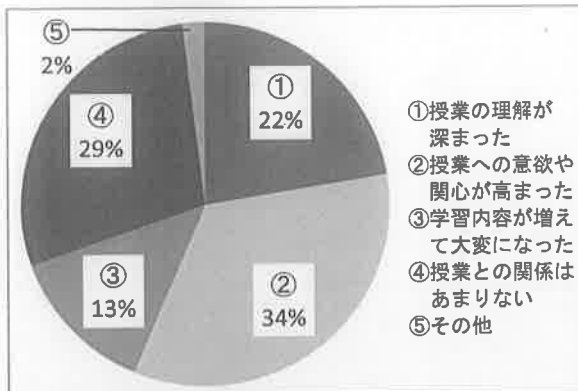
3 参加について



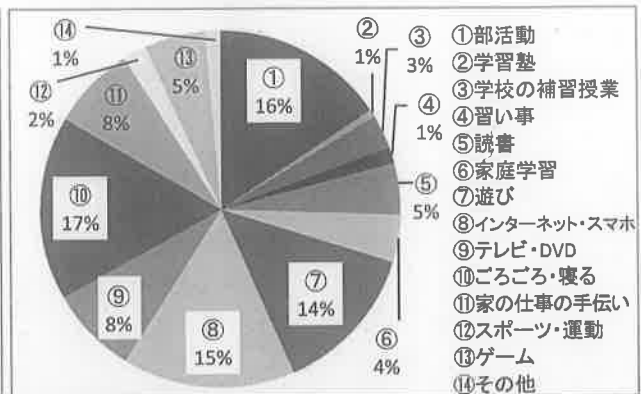
4 よかった点



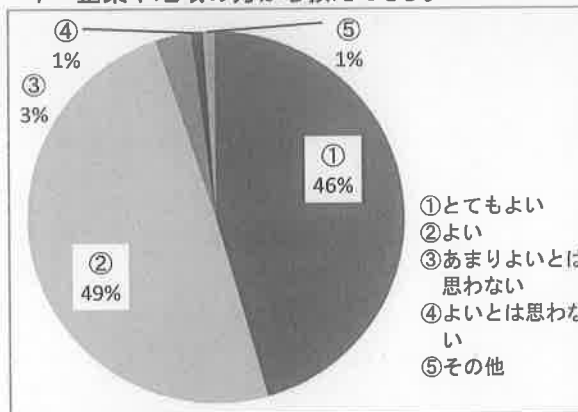
5 授業との関連



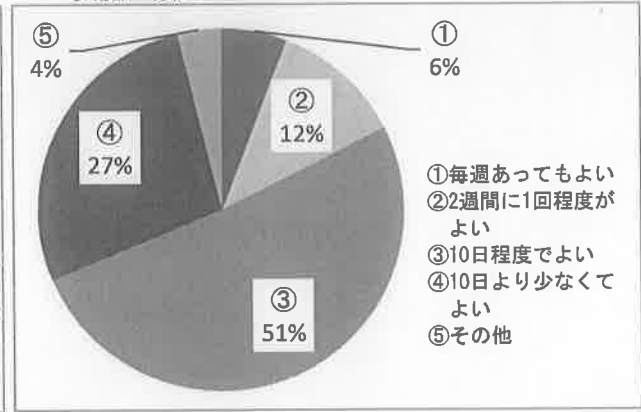
6 今までの土曜日の過ごし方



7 企業や地域の方から教えてもらうことについて



8 実施日数について



9 土曜日の学習活動に参加して、「あまりよくなかった」「よくなかった」と回答した理由

- ・ 内容が難しかった。
- ・ 説明が多かったので、あまり問題を解くことができなかった。
- ・ 講座の内容が思っていたものと違っていった。
- ・ 内容はよかったが、時間が長かった。
- ・ 自分の将来に関係のない内容だった。
- ・ することが増えて大変だった。
- ・ 班活動がうまくいかなかった。
- ・ 立てた計画どおりにいかなかった。
- ・ 忙しい時期と重なって大変だった。

10 地域や企業の方に教えていただくことに対する回答の理由

- ・ 実際に働いている方の経験から社会で役立つことを教えてもらえる。
- ・ 専門の方が教えてくださるので、分かりやすく、専門的な知識が身に付く。
- ・ 知らないことを知ることができ、知っていることはもっと深く知ることができた。
- ・ 教え方が上手で分かりやすい。
- ・ 地域の方と仲が深められるから。
- ・ 分からないところをしっかりと理解することができたから。
- ・ 学校で学ぶことと、また違った方法や考え方を学ぶことができたから。
- ・ 別の観点から改めて勉強することで、分かることが増えたから。
- ・ 地域や企業の方と関わる機会ができ、職業や地域への関心が高まった。
- ・ 学習への意欲や関心が高まったから。
- ・ 新しい知識を学んだり、より明確な情報を得たりすることができるから。
- ・ 授業では習わないところを深く知ることができる。
- ・ 学習していることが、どのように役立つかを織り交ぜながら教えていただけた。
- ・ 自分の夢が見つかるかもしれないから。
- ・ 地域が一丸となって盛り上がるためには地域と関わることはいいと思う。

- ・自分の将来を現実的に考えられるから。
- ・実際にどのようにして社会と関わっていけばよいか分かってとても楽しい。
- ・社会で必要な考え方などを肌身で感じることができた。
- ・社会にデザインが強く関わっていることがよく分かった。
- ・実際の仕事の厳しさや内容を身をもって理解できる。
- ・自分たちの学びが、社会に役立つことを体験的に学ぶことができる。
- ・地域の問題に取り組むことができてよかった。
- ・今まで知らなかったことを知り、新たな発見があった。
- ・地域の方の優しさや応援されていることが分かってうれしかった。
- ・企業の方に教えていただくことで、現実味を帯びた実習になった。
- ・学校外の方に教えていただくことで、自分の考えの足りなさや改善点が分かった。

11 実施日数についての回答の理由

①毎週あってもよい。

- ・普段の授業や課題研究で生かせることがたくさん学べるから。
- ・勉強になるから。
- ・とても楽しく、たくさん話を聞き、学びたい。(毎日でもいい)
- ・多くのことを時間をかけて学びたい。
- ・とても興味があり、よい授業だから、月1回では惜しいと思う。

②2週間に1回程度がよい。

- ・自分のためになるから。
- ・学んでいることがもっと身に付くから。
- ・もっと学びたい。
- ・制作時間がほしい。
- ・土曜日に特に予定がないから。

③10日程度でよい。

- ・部活で忙しい。
- ・あまり多いとしんどい。休みもほしいから。
- ・参加できないと申し訳ないから。
- ・補習もあるから。

④10日より少なくてもよい。

- ・他の予定と重なった時に調整が難しい。
- ・疲れがたまるから。
- ・部活や大会で参加できないことが多いから。
- ・確実に参加できる。
- ・その他の勉強時間を確保したい。
- ・あまりよく分からなかったから。
- ・休みもほしいから。

⑤その他

- ・何回でもよいので、午前中だけにしてほしい。

12 地域や企業の方に教えていただきたいこと

- ・社会に出て役立つこと
- ・社会に出て必要な資格に関すること
- ・学校では習わないことを教えてほしい
- ・企業が必要とする人材について
- ・人とのコミュニケーション等について
- ・社会で生きていくために必要なこと
- ・実際に企業と関わることを学びたい。
- ・実際に企業の方の話を聞きたい。
- ・地元の企業について知りたい。
- ・地域活性化のために私たちがなすべきことを考えたい。
- ・世界の現状
- ・地域に必要とされていることや社会貢献について知りたい。

13 土曜日の学習に取り組んで困ったこと、変えてほしいこと

- ・集中して取り組むために時間をもう少し短くしてほしい。
- ・半日であれば、参加人数がもっと増えると思う。
- ・問題数を増やしてほしい。
- ・他の科目も教えてほしい。
- ・できれば基礎から教えてほしい。
- ・グループ活動で協力してくれない人がいて困った。
- ・受けようと楽しみにしていた講座が受けられなかった。
- ・時間が短いなと思った。一日でもよい。
- ・土曜日だけで活動が終わるとよい。

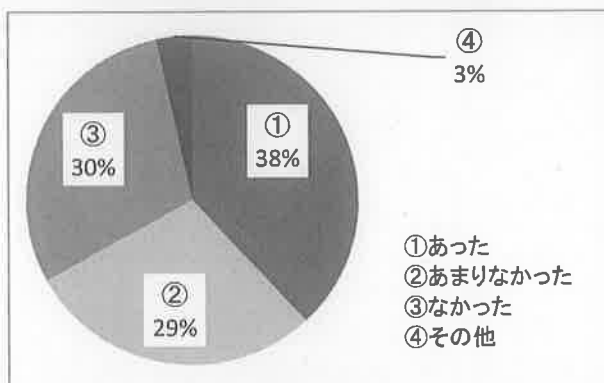
14 意見や感想

- ・部活動が忙しいので貴重な時間をとっていたが、楽しくためになる学習ができてよかった。
- ・普段、学べないことが楽しく学べ、知識を深めることができてよかった。
- ・自分にプラスになったので、これからは積極的に参加したい。
- ・土曜教育に参加すると理解が進むのでいいと思った。
- ・細かいところまで丁寧に教えてくださったので、今まで分からなかったところが、分かるようになった。
- ・土曜日が充実するようになった。
- ・資格取得に役立てることができ、とても助かった。
- ・参加して丸一日は大変だったけど、役立つこともあったのでよかった。
- ・自分からも少しいろいろと質問できればよかった。
- ・土曜教育を受けて、新しく理解できたことがあってよかった。
- ・自分の今の実力を知ることができた。検定に受かるよう頑張りたい。
- ・自分が分からないところを詳しく教えてもらえてよかった。
- ・授業の内容が分かりやすく、さらに理解が深まったので、参加してよかったと思う。
- ・自分が苦手なところが見つかり、意欲も高まった。
- ・自分の将来に役立つ、とてもよい活動であり、これからも継続すべきだと思う。
- ・実際にプログラムを見せていただき、分かりやすかった。学校の授業でも役立つように勉強したい。
- ・部活動で参加回数は少なかったが、分かり切れていなかったところが、より深く理解できた。
- ・学校では学ぶことができないことを学ぶことができ、興味や関心がわいた。
- ・大学の先生の授業を受けることができ、とてもいい体験になった。また、機会があれば受けたい。
- ・今まで考えもしなかったことに触れることができ、とてもいい経験になった。
- ・今まで興味がなかったことに興味をもてるようになった。
- ・マナーについて教えていただき、就職・進学に大変役立った。今後も継続すべきだと思う。
- ・企業や地域の方の話聞くことは、想像力が広がってとてもよいと思う。
- ・土曜の学習について友達と話す機会が増え、話したことのなかった友達とも話すようになり、仲よくなれてよかった。
- ・地域や企業の方など、もっとたくさんの人と関わりたい。毎回楽しみにしている。
- ・寝ることが土曜日の有意義な過ごし方だと思っていたが、動くべきだと思うようになった。
- ・話合いで自分の意見をきちんと伝えられるように頑張りたい。
- ・自分の好奇心をもっと育てたい。
- ・学校での学習をさらに発展させたことを学ぶことができてよかった。
- ・グループ活動で友達の意見をたくさん聞くことができ、いろいろな発想を見つけられてよかった。また、みんなが作品を上手に仕上げたり、発表を工夫していたりとすばらしかった。
- ・難しかったけれど、スペシャリストは本気で指摘してくださったので、いろいろ学ぶことができた。

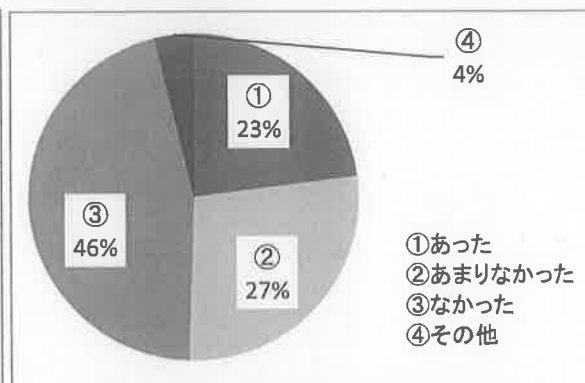
- ・休みが減ることがとても嫌だったけれど、直接、自分の作品制作に役立つことが多くてよかった。
- ・今まで土曜日を持って余してしまうことがあったが、いいペースで楽しく活動できた。
- ・グループ活動やプレゼンテーションに、ここまで取り組んだことがなかったので、いい経験ができた。
- ・座学ではなく、実践的に楽しく学ぶことができた。
- ・様々な知識を得られるこのような体験的な学習が増えることを期待したい。
- ・初めは長そうだなと思っていたけれど、講師の先生の話を楽しく聞くことができ、感動した。あつという間だった。
- ・たくさんの人に助けってもらいながらもやり遂げることができてよかった。
- ・普段しないことに取り組んで、難しさもあったが、楽しさもあり、意外な発見もできて、奥深さを知った。

保護者 事業実施校6校 381名

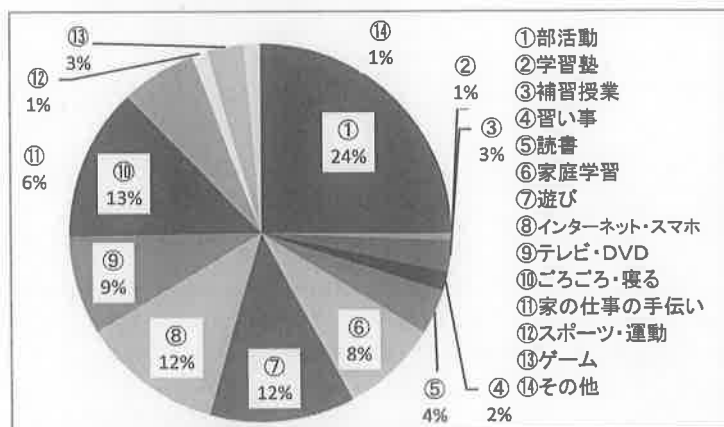
1 土曜日の教育活動についての情報提供



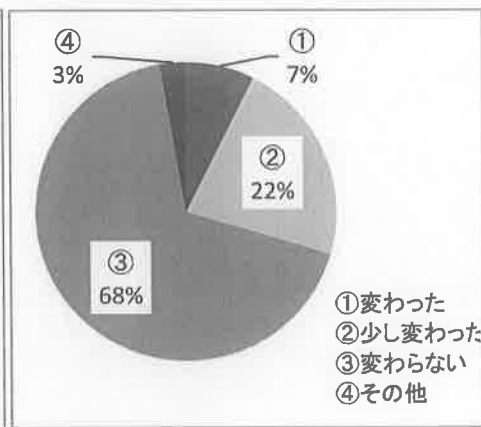
2 参観や協力の案内



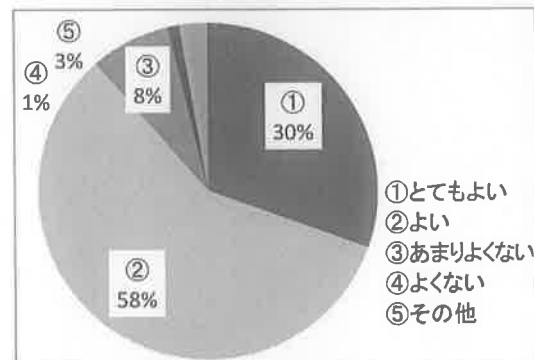
3 今までの土曜日の過ごし方



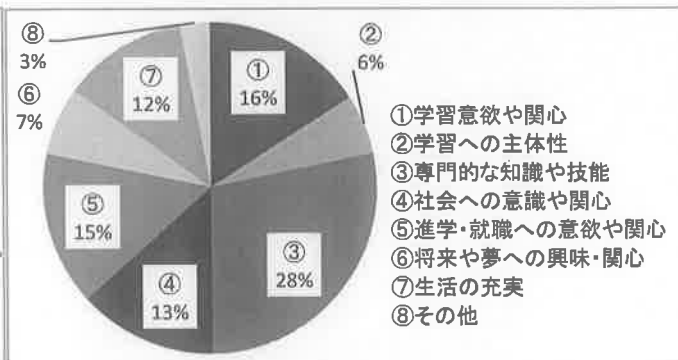
4 子どもの様子や土曜日の過ごし方



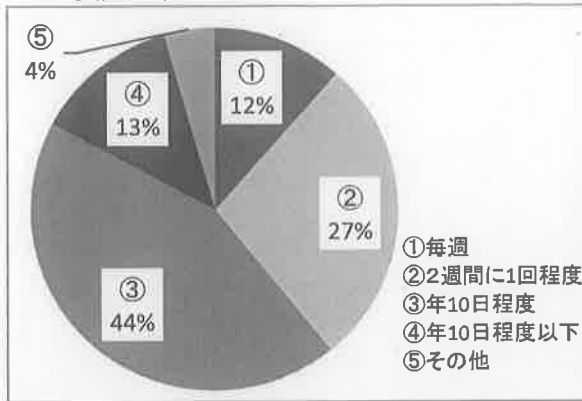
5 土曜日の教育活動への参加について



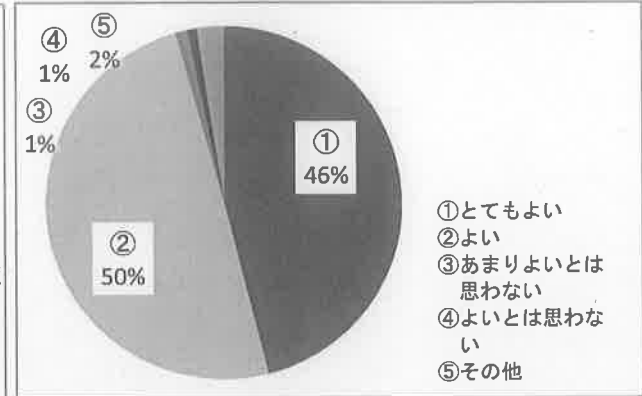
6 土曜日の参加についてよいと思われる点



7 実施日数について



8 企業や地域の方から教えてもらうことについて



9 子どもの様子や過ごし方の変化について

- ・前日の就寝時刻を早め、土曜日に学校に行く心構えをさせた。
- ・早寝・早起きをして、規則正しい生活をするようになった。
- ・少しながらも家庭での学習時間が増えた。
- ・無駄に過ごす時間がなくなった。
- ・だらだらとした2日間の休みが、メリハリのある土日になっている。
- ・昼前まで寝ていたが、起きて学校に行くようになった。
- ・忙しくなった分、計画を立てて、時間の使い方を考えて過ごすようになった。
- ・資格取得に向けて勉強をよくするようになった。
- ・インターネットやテレビを利用する時間がかかなり減った。
- ・忙しくなって、会話が減った。
- ・土曜日の内容がよいので、子どもが楽しみにしており、早起きをして充実した過ごし方ができている。

10 土曜日の学習活動に参加することについて、「あまりよくなかった」「よくなかった」と回答した理由

- ・授業のあと、部活をするので休みがない感じがする。
- ・疲れている。
- ・毎日、部活や勉強に追われているので、土曜日は余裕のある生活をさせたい。
- ・土曜日の生活が既に充実している。
- ・ゆっくり休めない。
- ・忙しい。
- ・どんな活動がよく分からない。

11 実施日数についての回答の理由

① 毎週あってもよい

- ・以前よりも勉強時間が少ない分、土曜日を十分活用してもらいたい。
- ・だらだらと送るより充実してよい。
- ・子どもが自分で勉強ができないから毎週あったほうがよい。
- ・内容が充実しているので、回数が多くてよい。

② 2週間に1回程度

- ・勉強する時間を増やし、学習する意識を持たせたい。
- ・社会人との新しい出会いは将来に役立つ。
- ・定期的に短い間隔で行う方が、効果的である。
- ・普段分からないところを詳しく勉強してほしいので、月1回では足りない。
- ・より詳しく学べるようになる。
- ・生活に張りやリズムができてよい。
- ・部活をしていないので、いろいろ知識が広がってよい。
- ・参観をして真剣な取組の様子を見て、有意義だと感じたので、増やしてはどうかと思う。
- ・いろいろと経験できることはよいことだと思う。

③ 10日程度でよい

- ・勉強や部活動との調整がしやすい。

- ・平日とのバランスを考えると適切だと思う。
- ・検定前には回数を増やしてほしい。

④10日より少なくてもよい

- ・体調面が心配である。
- ・子どもの負担が大きいような気がする。
- ・自宅でも学習しているから。
- ・習い事の時間が少なくなるから。
- ・他の用事があるから。

⑤その他

- ・10日程度ならなくてよい。

12 土曜日の教育活動に対して期待すること

- ・生活の充実、有意義な時間の過ごし方、メリハリのある生活習慣の定着
- ・将来進む方向性やビジョンがもてるような指導
- ・楽しみながら知識や技能の習得が進むことを望む。
- ・普段の学習で遅れているところを補ったり、苦手を克服したりするような学習
- ・学力の向上、成績の向上
- ・進路に役立つ内容や興味をもっていることをさらに高める内容
- ・社会では土曜日も休みではないこともあるので、そういう環境に慣れさせておきたい。
- ・専門的な知識を増やし、資格を取ること。
- ・安全
- ・学習内容の充実とサポート
- ・学習意欲や関心の向上
- ・学習時間の増加
- ・学校では教えないことを教えてほしい。
- ・将来に向けて、夢や希望に満ちた経験などの話
- ・実社会と直結した内容で、社会への意識を高めてほしい。
- ・子どもの興味・関心を重視して活動に取り入れてほしい。
- ・自分の将来について考える機会にしてほしい。
- ・普通の授業
- ・社会に出て役立つ教育活動
- ・社会に貢献できる人材を育成する活動内容にしてほしい。
- ・教育課程に縛られない柔軟な教育活動を望む。
- ・自ら進んで活動する力や自立心

13 地域や企業の方に教えていただくことについての回答の理由

- ・先生以外の方から学ぶことも多く、幅広い知見が得られる。
- ・地域・企業の人にも学校を知ってもらえてよい。
- ・いろいろなことへの意識や関心が高まり、また、視野も広がり、学びも深まる。
- ・今のうちから企業等にふれることはプラスになると思う。
- ・実社会の話が生の声として聞けるので、刺激も学ぶことも多く、とてもよい。
- ・子どもがたくさんの特任講師と出会う機会は重要である。
- ・親や先生と違った視点での意見や考えに触れることは大切である。
- ・勉強に対する意欲が高まるのでよい。
- ・地域や社会とのつながりがもて、関心が高まる。
- ・社会で活躍している方と触れ合うことは生徒にとってプラスになる。ありがたい。
- ・教育レベルの向上につながる。
- ・様々な職業に携わる方の生の声を聞いて、刺激を受けてほしい。
- ・机上では学べない知識を得ることができる。
- ・夢や目標をもてない子が多いので、きっかけになることを期待している。
- ・進学・就職への意識が高まり、将来への夢について考えるようになった。
- ・世の中の現状を教えていただけるチャンスなので、支援したい。
- ・子どもから専門的な内容について分かりやすく教えていただけたと聞き、よかった。
- ・地域や企業の方に講師として教えていただけることは、社会についていろいろと知ることができるので、とてもすばらしい。

- ・講師の幅広い見識に触れることは、すばらしい体験と刺激であり、いつもと違った評価やアドバイスを直に受けることは新鮮で意欲が高まると思う。
- ・学校での学習が実社会にどのようなにつながっているのか、自分の身に付けた知識や技術がどう役立つかをイメージすることができる。
- ・子どもが講師の方の実体験が聞けて勉強になるし、おもしろいと楽しんでいる。

14 土曜日の教育活動において家庭で困ったことや心配な点

- ・部活動もあり、1日つぶれると疲れてしまい、宿題ができない。
- ・土曜日でも学校へ行くと、疲れがとれない。
- ・家族旅行や家族でのレクリエーションが計画できない。
- ・時間に余裕がなくなるのではないかと心配している。
- ・家庭学習や部活動等の時間がとりにくいこと。
- ・活動内容等の情報提供をしてほしい。
- ・受講できる講座が決まっているので、学年が変わっても受講できなかった講座に参加できるチャンスがあればと思う。

15 意見や感想

- ・ボランティア活動や地域の手伝いなど、地域の方とふれあう活動をすればよいと思う。
- ・いろいろな業種の方の話を聞くことは、生徒にとって必要だと思うので、続けてほしい。
- ・土曜日の教育活動に賛成なので、もっと積極的に実施していただきたい。
- ・時間を割いて協力していただき、ありがたい。子どもたちに確実にプラスとなるよう、また、子どもたちも応えられるよう協力したい。
- ・外の社会を知ること、自分を見つめるきっかけになるとよい。
- ・高校卒業後のことを前向きに考えることができた。
- ・部活だけで登校するのではなく、勉強に時間を回すのはよいと思う。
- ・内容についてもっと知らせていただき、学校・家庭がもっと連携できるとよい。
- ・生徒たちのために考えて新たな試みをしていただけることに感謝している。これからも続けていただきたい。
- ・興味をもっていたことを学ぶことができ、今では本格的に取り組むようになった。
- ・地域や企業の方に学校を知ってもらいよい機会であり、地域に愛される学校であってほしい。卒業生の多くが地域で活躍・貢献し、学校に対する評価が上がることを期待している。
- ・普段できないことを体験することで、考えるきっかけになると思う。
- ・子ども本人が楽しみに土曜日に学校に行っているの、ありがたい。

アンケート調査等の結果及び成果と課題

Ⅰ アンケート調査等の結果から

1 学校とコーディネーターの連携について

- ・ 「教育活動の計画」において、学校との連携が「十分できた」「できた」と回答したコーディネーターは100%、学校は83%であり、相互に連携・協力して教育活動の計画に取り組むことができたとする学校が多いものの、土曜教育推進員等の「人材の確保・選任」における連携については、「十分できた」「できた」と回答したコーディネーターが100%である一方で、学校が50%に留まっており、教育活動に応じた人材の確保・選任において、より連携を図る必要があると考えている学校が多い。
- ・ コーディネーターの意見として、「生徒たちが学びたいと思う知識や技術をより多く取り入れた学習にしたい」「学校の要望に応えるよう努めたが、こちらから提案できればよかった」等があり、今年度の取組を踏まえて、地域・学校との連携や教育活動の計画に工夫・改善を図ろうとする意識の高まりが見られる。

2 学校の目的や実態に応じた体系的・組織的な教育活動の計画について

- ・ 「十分できた」「できた」と回答した学校が83%であり、ほとんどの学校が目的や実態に応じた体系的・組織的な教育活動が計画できたとしているが、効果的な実施時期や内容の精選・重点化、学校の授業との連携等の点において、計画の工夫・改善を図る必要を感じている学校もある。

3 土曜教育推進員の配置や教育活動・学習支援の適切な実施について

- ・ 「教育活動や必要な支援に応じた土曜教育推進員の配置」「教育活動や学習支援の適切な実施」においては、「十分できた」「できた」とするコーディネーター、学校はともに100%に達しており、全6校が目的とする教育活動や学習支援が、地域や企業の人材の活用によって適切に行われたとしている。
- ・ 土曜教育推進員の意見として、より効果的な実施を考え、時間・回数の増加や生徒の実態把握を望む声があり、計画の工夫や事前の打ち合わせにおいて十分な共通理解を図る必要がある。

4 教育活動や学習支援に関する学校や教員等のサポートについて

- ・ 「十分できた」「できた」と回答したコーディネーターは100%、土曜教育推進員は97%であり、学校や教員等が、コーディネーター、土曜教育推進員と十分に連携・協力して教育活動や学習支援等に取り組むことができている。また、教育活動における教員等の必要なサポートについて、「特に必要ない」と回答した土曜教育推進員が32%いる一方で、土曜日の教育活動の事前事後を含めて必要とする土曜教育推進員もおり、教育活動の内容によって教員のサポートの必要性に違いが見られる。

5 教員の負担について

- ・ 全6校が「かなりある」「少しある」と回答しており、ほとんどの学校が部活動や行事との調整の難しさを理由に挙げている。

6 土曜日の教育活動への参加や生徒の取組の状況について

- ・ 土曜日の教育活動への参加について「とてもよかった」「よかった」とする生徒、保護者は、ともに88%で、「専門的な知識や技能の習得」（生徒24%、保護者28%）を一番の理由としている。その他の理由を見ると、生徒は2番目に「つまずきの解決」17%があり、授業で十分に理解や習熟が図れなかった内容について解決ができたことを挙げている。
- ・ 「生徒が学習に進んで取り組むことができたかどうか」について、「十分できた」「できた」と回答した土曜教育推進員が100%、生徒は85%となっており、ほとんどの生徒に学習への意欲的な態度が認められたと言える。「あまりできなかった」「できなかった」と回答した生徒は、

「内容が思っていたものと違っていた」「内容はよかったが、時間が長かった」「忙しい時期と重なった」等を理由として挙げており、実施の時期・時間の検討や教育活動の内容を生徒に十分に説明するなどの対応が必要である。

7 土曜日の過ごし方について

- 「今までの土曜日の過ごし方について」を見ると、「インターネット・スマホ」「テレビ・DVD」「ごろごろ・寝る」「ゲーム」と回答した生徒が複数回答ではあるが計45%、保護者は計37%に上っている。土曜日の教育活動に参加するようになって、土曜日の過ごし方が「変わった」「少し変わった」と回答した保護者は29%で、「時間の使い方が上手になった」「規則正しい生活をするようになった」「メリハリのある土日になった」と子どもの変容を認めている保護者がいる一方で、年10日程度では大きな変化にはつながらないとの見方や回数増を望む声もある。

8 実施日数について

- 保護者、生徒の回答状況を見ると、それぞれ10日程度が適切であるとする回答が最も多いが、「毎週」「2週間に1度程度」と回答した保護者が39%おり、実施日を増やすことを望む声も少なくない。しかし、部活動や学校の行事との調整の難しさが課題となっており、実施日を増やすことは難しい状況にあるため、10日程度の実施が適切であると考えている学校が多い。

9 土曜日の教育支援体制について

- 地域や企業等の人材から学習支援を受けることについて、「とてもよい」「よい」と回答した生徒は95%、保護者は96%とそれぞれ高く、ほとんどの生徒、保護者が土曜日の教育活動に肯定的であり、大きな期待を寄せていることが分かる。
- 土曜日の教育支援体制づくりについては、「十分できた」「できた」と回答したコーディネーターが67%、学校が83%となっている。コーディネーターとしては、もっと地域や企業に働き掛けることで、一層の連携・協力を図る必要性を感じており、学校は今までにはあまりなかった地域とのつながりや連携・協力が進んだととらえている点で回答に違いが出たと思われるが、「十分できた」と回答した学校は0校であることから、より一層の推進の必要性を同様に感じていると思われる。

10 広報・啓発活動について

- 「あまりできなかった」「できなかった」と回答した学校が67%を占め、保護者の59%が情報提供について「あまりなかった」「なかった」と回答しており、「土曜日の教育活動の内容について知らせてほしい」という意見も複数寄せられている。土曜日の教育活動の充実や学習効果を高めるためにも、家庭や地域の理解・協力は必要であり、広報・啓発活動の充実においては課題がある。

11 教育効果について

教育効果についてのそれぞれの回答は次の表のとおりである。

	意欲・関心・態度の向上	専門的知識・技能の習得	つまずきの克服	社会の理解や関心	就職・進学への意欲・関心	資格・就職・進学の実現	その他	合計
コーディネーター	37%	36%	0%	9%	9%	9%	0%	100%
学校	23%	27%	9%	18%	9%	14%	0%	100%
土曜教育推進員	28%	28%	9%	15%	15%	5%	0%	100%
生徒	16%	24%	17%	6%	8%	8%	21%	100%

※生徒の「その他」の内容

授業の習熟(9%)、学びたいことが学べた(4%)、社会で役立つ学び(5%)、地域の大切さを学んだ等(3%)

- ・ 複数回答ではあるが、どの対象者も「学習への意欲・関心の高揚」「専門的な知識・技能の習得」が全体の40%以上を占めている。各校の特性を生かした教育活動において生徒のニーズに応じた専門性の高い土曜教育推進員の配置・活用が適切になされたことにより、生徒の学習への意欲や関心が高まったと思われる。また、生徒の回答で「つまずきの克服」が2番目に高く、学校の授業で悩みや困難を抱えていた生徒が、土曜日の学びを通してつまずきの解決・解消を図ることができたことが分かる。しかしながら、「実社会への理解・関心」や「就職・進学への意欲・関心」の高揚については、他と比べるとあまり高いとは言えず、地域や企業の人材を活用していることの効果を十分に生かし、学校の授業や土曜日の教育活動が、「実社会とのつながり」や「自分の将来・生き方」についての理解や関心等の高まりにつながるよう、教育活動の計画や内容、授業との関連等の工夫が必要である。

II 成果と課題

1 成果

- ・ コーディネーター・土曜教育推進員といった豊かな地域・企業の人材を活用することによって学校の授業では学ぶことのできない「土曜日ならではの」教育活動及び学習プログラムが企画立案・実践されたことによって、生徒の土曜日の教育環境の充実につながった。
- ・ コーディネーター・学校・土曜教育推進員の連携・協力によって、質の高い土曜日の教育活動が実践され、「専門的な知識・技能の習得」「学習への意欲・関心の高揚」等に効果が認められ、難易度の高い資格の取得や進学・就職の実現につながるなど、生徒・保護者の土曜日の教育活動への期待が高まっている。
- ・ 各校が自校の教育目標や特性を生かして土曜日の教育活動の目的を明確にし、資格取得やコンテストへの出品、地域行事への参加等の具体的な目標を生徒にもたせたことが、生徒の意欲的・継続的な取組、達成感や充実感につながったものと思われる。

2 課題

- ・ 地域人材については、教育活動の目的・実施時期・地域等の条件から学校が望む人材の確保・活用が難しい場合もあり、今後もコーディネーターと学校が連携して地域の人材の確保に努めていく必要がある。
- ・ 教員の負担については、部活動や行事との調整、他の教員との協力体制等によってできる限り解消に努める必要がある。また、複数の学習プログラムが行われる場合は、地域や保護者の協力を得るなどの手立ても検討する。
- ・ 土曜日の教育活動については、学校の授業との関連を図るとともに、地域人材を活用しているよさが、「実社会とのつながり」「自分の将来・生き方」に結び付くことによって、相互に効果が高まるように計画・内容を工夫・改善する必要がある。
- ・ 土曜日の教育活動の充実や学習効果を高めるためにも、家庭や地域の理解・協力は大切であり、広報・啓発活動の充実にも努める必要がある。

土曜日の豊かな教育の推進

—教育課程外の豊かな学び—

(平成 26 年度 地域人材を活用した土曜教育推進事業 実践事例集)

《文部科学省:「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築
事業費」補助事業》

発行 平成 27 年 3 月

愛媛県教育委員会